学校番号 C2101　桃谷(通)　　令和2年度 数学科

科目名 ：	数学Ⅰ	単位数 ： 3 単位	必要スクーリング出席回数： 3 回
使用教科書 ：：高校数学Ⅰ(新訂版)　(実教出版)			
学習書 ・副読本 ：：学習書　(ＮＨＫ出版)			

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート [R]	9 枚	3 枚	3 枚	3 枚
スクーリング [S]	16 回	6 回	5 回	5 回
テスト [T]	1 回	○	×	×
その他 (課題・実習等)				

1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

・教科書をしっかり読んで内容を理解してください。
・レポートに書かれた内容はひとつひとつ丁寧に確かめながら進めてください。
・スクーリングでは、学習内容を解説するので、教科書を読んで理解した内容を点検し、さらに理解を深めてください。
・あわてて解こうとせず、理解が得られないところを、さまざまな学習ツールを使って探索し、思考を積み重ねていくことが重要です。

2 学習の到達目標

数と式、2次関数、図形と計量、データの分析について基礎的な知識の習得と技能の習熟を通じてその内容を理解する。また、それにより事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を養う。数学が単に学習すべき知識として与えられているのではなく、長い間の人類が格闘して獲得してきた成果であり、数学的な理解が発展してきたものとしてとらえることが、数学への関心・意欲を深めることができる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b ：数学的な見方や考え方	c ：数学的な技能	d ：知識・理解
観点の趣旨	数と式，2次関数，図形と計量およびデータの分析における論理や体系に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	数と式，2次関数，図形と計量およびデータの分析における事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。	数と式，2次関数，図形と計量およびデータの分析において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数と式，2次関数，図形と計量およびデータの分析における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，基礎的な知識を身に付けている。
評価方法	・記述の点検 （レポート）	・記述の確認及び分析 （レポート） ・定期考査	・記述の確認及び分析 （レポート） ・定期考査	・記述の確認及び分析 （レポート） ・定期考査

・学年末に５段階で評価する。
◎ 卒業するまでにこの科目の履修が必要です。この科目の履修がなければ、数学Ⅱと数学Ｂの受講はできません。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1範囲	第1章 数と式	整式の加法・減法 整式の乗法 指数法則 式の展開 因数分解 平方根とその計算 実数 不等式とその性質 １次不等式	○	○	○	○	a数と式に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。 b数と式を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。 c数と式を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 d数と式における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，基礎的な知識を身に付けている。	・レポート ・定期考査
2範囲	第2章 2次関数	$y=ax^2$ のグラフ $y=ax^2+q$ のグラフ $y=a(x-p)^2$ のグラフ $y=a(x-p)^2+q$ のグラフ 平方完成 2次関数の最大・最小 2次方程式 2次関数のグラフと2次方程式 2次関数のグラフと2次不等式	○	○	○	○	a2次関数に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。 b2次関数を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。 c2次関数を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 d2次関数における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，基礎的な知識を身に付けている。	・レポート
3範囲	三角比・集合と論証・データの分析	三平方の定理 鋭角の三角比 三角比の相互関係 三角形の面積 集合と要素 命題 データの整理 データの分析	○	○	○	○	a三角関数、集合、データの整理に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。 b三角関数、集合、データの整理を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。 c三角関数、集合、データの整理を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 d三角関数、集合、データの整理における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，基礎的な知識を身に付けている。	・レポート ・課題

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：数学的な見方や考え方
　　c：数学的な技能　　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。